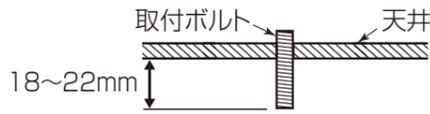




各部のなまえと取付かた

# 1 取付前の確認

- 器具本体質量 (約 1.0kg)、ライトユニット質量、オプション (ガード等) 質量、及びライトユニットの引き下げ力 (60N) の合計に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
  - ライトユニット及びオプションの質量は、適合品の納入仕様書を参照ください。
  - 取付ボルトを使用の場合は、W3/8 または M10 を使用する。
  - 木ねじを使用の場合は、丸木ねじの呼び径 4.1 以上を使用し、板厚は 9 mm 以上とする。
- 取付ボルトの長さは、天井面より 18 ~ 22 mm にする。



**警告**  
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける (落下の原因)

# 2 器具本体を取付ける

- 器具本体のプッシュ付電源用穴に電源線・アース線を引き込む。ロックアウトの電源用穴を使用する場合は、必ず付属のプッシュを取付ける。
- 連続調光形の調光機能を使用する場合は、ロックアウトの信号線用穴に必ず付属のプッシュを取付け、信号線を引き込む。
- 別途手配の平座金、ばね座金、六角ナットを用いて、本体を確実に固定する。六角ナットの締付トルクは 1.0 ~ 1.2N・m です。

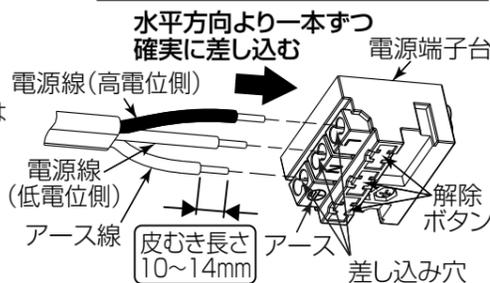
**警告**  
取付けが不完全な場合落下の原因

**注意**  
器具の取付け・取外し・清掃時は手袋などの保護具を使用する (けがの原因)

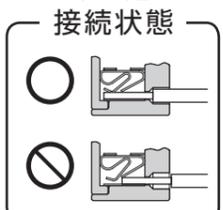
# 3 電源線・アース線を電源端子台に接続する

- 電源線には、ライトユニット同梱の耐熱チューブを取付けてください。(耐熱チューブ同梱のライトユニットのみ)
- アース線を電源端子台の差し込み穴に水平方向より確実に差し込む。  
<D種 (第 3 種) 接地工事が必要>
- 電源線を電源端子台の差し込み穴に、水平方向より一本ずつ確実に差し込む。

**警告**  
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う (アース工事が不完全な場合、感電・火災の原因)



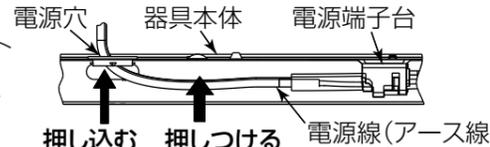
**警告**  
電源の接続は適合電源線の被覆を指定長さにおむき、1本ずつ差し込み穴の奥まで差し込む (差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因)  
送り配線は照明器具専用回路とし、電源端子台送り総容量を確認して接続する (容量を超えると電源端子台が過熱して火災の原因)



電源端子台の送り総容量はライトユニットの明るさタイプで異なります。(右表参照)

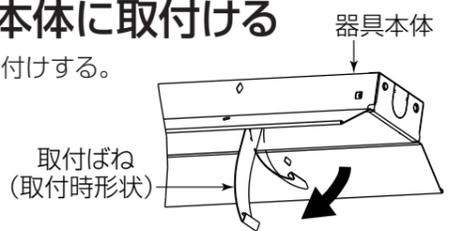
明るさタイプ	送り総容量
10000lm タイプ	8A
6900lm タイプ	12A
5200lm タイプ	14A
4000lm タイプ	16A
3200lm タイプ以下	20A

- 電源線・アース線の接続後、余分な電源線はライトユニットとの当たりを防ぐため電源穴に押し込み、電源線を器具本体に押し付ける。



# 4 ライトユニットを器具本体に取付ける

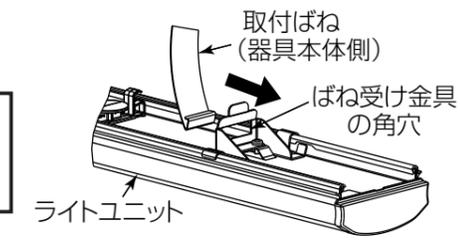
- 器具本体側にライトユニットを仮取付けする。器具本体の取付ばねを下げる。



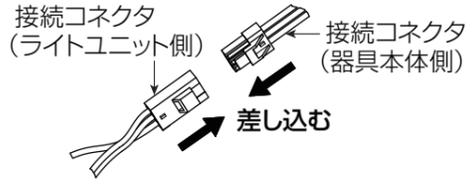
**お願い**  
取付ばねを必要以上に曲げない (取付ばね変形の原因)

- 取付ばねをライトユニット両側のばね受け金具の角穴に入れる。

**注意**  
片側のみ取付ばねをばね受け金具の角穴に入れた状態で保持しない (落下の原因)



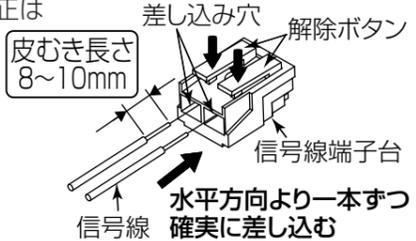
- 器具本体側とライトユニット側の接続コネクタを接続する。



**警告**  
通電した状態でコネクタの接続をしない (感電の原因)

- 信号線を信号線端子台の差し込み穴に水平方向より一本ずつ確実に差し込む。(連続調光形の調光機能を使用する場合のみ)

- 適合引込み信号線:  
φ 0.9 mm FCPEV-1P 単線 または φ 1.2 mm FCPEV-1P 単線
- 接続が不完全な場合、動作不良の原因となります。
- 調光信号が入力されると、初期照度補正は解除されますが、連続点灯時間はカウントし続けます。

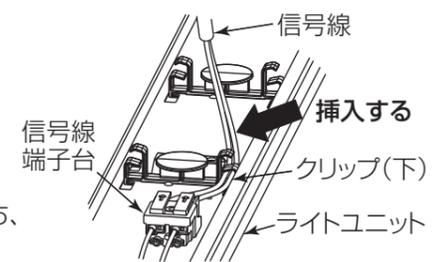


**警告**  
信号線端子台に電源線を接続しない (過熱して火災の原因)

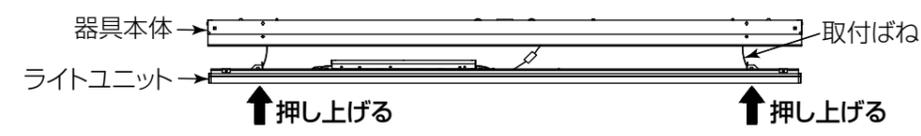
**お願い**  
接続時にライトユニットに、過度な荷重をかけない (破損の原因)

- 信号線をライトユニットに固定する。

- 信号線をクリップ (下) に挿入し、余分な信号線はライトユニットとの当たりを防ぐため、信号線用穴に押し込む。



- ライトユニットを取付ける。  
ライトユニットの取付ばね近傍を持ち、器具本体側に押し上げる。

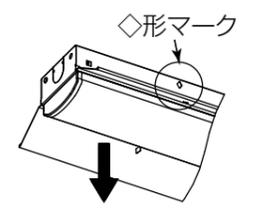


**警告**  
接続コネクタ・電源線・信号線・送り配線を挟み込まない (火災・感電の原因)

**注意**  
押し上げ時に器具本体とライトユニット間に指を入れない (けがの原因)  
ライトユニット取付後、電線の挟み込みがないことを確認する (感電の原因)

# 5 ライトユニットの取外しかた

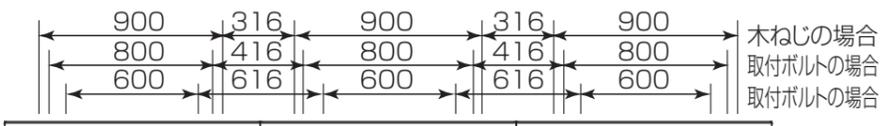
- 器具本体の◇形マークを目印に、ライトユニット側面部を持ち、両手で水平に引き下げる。



**注意**  
点灯中及び消灯直後の器具本体及びライトユニットに触らない (高温のためやけどの原因)

# 6 連続取付の場合

- 取付ピッチを確認する。(単位 mm)

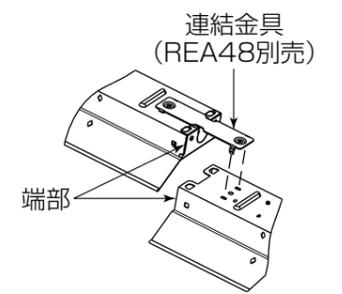


- 器具内送り配線をする場合、器具本体の端部ロックアウトをペンチ等で取外す。

**注意**  
ロックアウト取り外し作業はペンチ等の工具を用いる (けがの原因)

- 器具本体の端部をそろえて連結する。(器具本体の中心をあわせる)

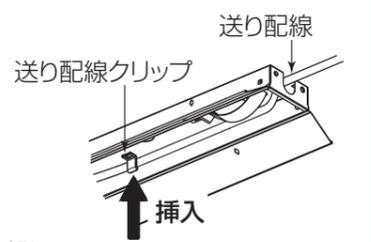
- 連続取付の中央部から両端に向かってライトユニットを器具本体に取付ける。  
※連結金具 (REA48: 別売) をご使用いただくと、器具本体の中心が合わせやすくなります。連結金具の取付けかたは REA48 の取扱説明書を参照してください。



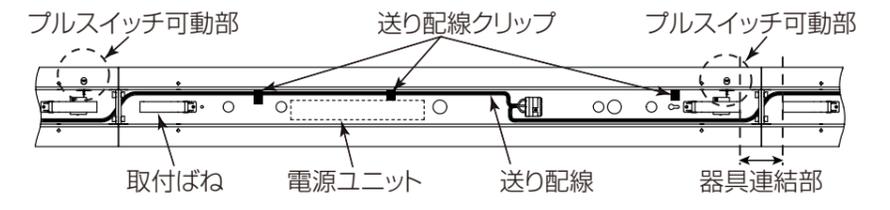
# 7 器具内送り配線をする場合

- 電源線・信号線はエコケーブルソフトタイプを使用し、器具間を接続する。  
適合電源線: φ 1.6EM-EEF  
適合信号線: φ 0.9EM-FCPEE-1P

**注意**  
ロックアウト部分 [電源用・信号線用穴] には各配線のシース [外被] を残して施工してください (感電・火災の原因)



- 取付ばね、電源ユニット、プルスイッチ可動部に触れないように配線し、送り配線クリップに挿入して固定する。



- 信号線をライトユニットに固定する。(連続調光形の調光機能を使用する場合のみ)

- ライトユニットを仮取付けした状態で信号線をクリップ (上) に挿入する。

